

南城市立佐敷中学校（技術科 3年 シラバス）

1 中学校技術科の目標

【生物育成】	
(1)	生活や社会を支える生物育成の技術（生物の成長などの原理・法則と基礎的な技術の仕組み） （技術に込められた問題解決の工夫）
(2)	生物育成の技術による問題の解決（安全・適切な栽培又は飼育，検査など） （問題の発見と課題の設定，育成環境の調節方法の構想と育成計画，栽培又は飼育の過程や結果の評価，改善及び修正）
(3)	社会の発展と生物育成の技術（生活や社会，環境との関わりを踏まえた技術の概念） （技術の評価，選択と管理・運用，改良と応用）
【情報】	
(3)	計測・制御のプログラミングによる問題の解決 （計測・制御システムの仕組み，安全・適切な制作，動作の確認，デバッグ等） （問題の発見と課題の設定，計測・制御システムの構想と情報処理の手順の具体化，制作の過程や結果の評価，改善及び修正）
(4)	社会の発展と情報の技術（生活や社会，環境との関わりを踏まえた技術の概念） （技術の評価，選択と管理・運用，改良と応用）

2 評価と評価方法

観点	知識及び技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
3年 内容	(1) 生活や社会で利用されている生物育成の技術についての基礎的な理解とそれらに係る技能・生物育成の技術と生活や社会，環境との関わりについての理解 ・ 単元テスト ・ プリント ・ 栽培の観察記録	(2) 生活や社会の中から生物育成の技術に関わる問題を見いだして課題を設定し解決する力 ・ 技術ノート ・ 単元テスト ・ 課題提出 ・ プリント	(3) よりよい生活や持続可能な社会の構築に向けて，適切かつ誠実に生物育成の技術を工夫し創造しようとする実践的な態度 ・ 課題提出 ・ 振り返り ・ 実習の取り組み ・ 技術ノート

3 授業計画（3年）

前半	4月	5月	6月	7月	8月	9月
後半	9月	10月	11月	12月	1月	2月
【情報】			【生物育成】			
①計測・制御のプログラミングによる問題の解決			①生活や社会を支える生物育成の技術			
④社会の発展と情報の技術			②生物育成の技術による問題の解決			
			② 社会の発展と生物育成の技術			

4 授業の進め方

(1)学習用具の準備

(2)ペア・グループで協力して活動する。

(3)使った物はしっかり所定の場所に片付ける。

(4)勝手に道具・材料を使用しない。

5 授業で使うもの

教科書 技術ノート・ファイル・筆記用具・(タブレット)

6 その他

・電気実習の授業で安全に気をつける。

危険な道具（のこぎり・ハンマー・半田ごてなど）は、安全を確認にして作業する。

電気回路の作成時にやけどに注意。